

福知山市商工会 企業業況調査

令和4年1月調査結果(令和3年10月～12月分 調査対象 76件)(令和4年2月 日公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	76	28.6	27.6	29.3	33.7	34.9	37.2	
地域別	三和	16	37.5	36.8	34.4	39.7	35.9	35.3
	夜久野	23	22.8	24.0	27.2	29.8	35.9	36.5
	大江	37	28.4	25.7	28.4	33.6	33.8	38.6
業種別	製造業	20	35.7	34.8	40.5	42.4	46.4	46.7
	建設業	21	30.0	32.5	28.8	33.8	27.5	32.5
	卸小売業	13	20.8	7.5	18.8	15.0	29.2	37.5
	サービス業	22	25.0	25.0	25.0	33.0	33.7	32.0

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

現状は、景況感DIは28.6と前回調査より1ポイントのプラスとなり二期続けてプラス。地域別では、三和が0.7ポイント、大江が2.7ポイントプラス、夜久野が1.2ポイントのマイナスになっている。業種別では製造業は0.9ポイントのプラス、建設業は2.5ポイントマイナス、卸小売業で13.3ポイントプラス、サービス業が前回と同数値となっている。前期に比べ景況感は若干改善している。特に卸小売業は感染状況の改善やそれに伴う緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の全面解除によって、景況感が改善したことが示される形となった。

先行調査では、先行3ヶ月が4.4ポイントのマイナス、先行1年が2.3ポイントのマイナスと先行きの見通しは悪い。業種別に見ると、先行3ヶ月では製造業、建設業、サービス業ではマイナス、卸小売業はプラス。先行1年では製造業、建設業、卸小売業はマイナス、サービス業はプラスとなっている。先行き調査の調査時期がオミクロン株の拡大が懸念され始めた時期であり、その影響も出てきている。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合	/		-24.4	-25.6	-17.1	-23.3
売上			-17.1	-32.6	-14.6	-30.2
仕入単価			-56.1	-51.2	-56.1	-44.2
採算	-2.4	-4.7	-41.5	-23.3	-39.0	-30.2
資金繰り	-14.6	-18.6	/		/	
業況	-31.7	-37.2				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上	/		-40.0	-54.2	-31.4	-42.9
仕入単価			-54.3	-45.7	-48.6	-48.6
客数			-28.6	-48.6	-37.1	-40.0
客単価			-31.4	-31.4	-28.6	-28.6
採算	-17.1	-40.0	/		/	
資金繰り	-34.3	-40.0				
業況	-48.6	-62.9				

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が2.3ポイント、資金繰りが4.0ポイント、業況が5.5ポイントのプラスとなっている。

卸小売業・サービス業においは、採算が22.9ポイント、資金繰りが5.7ポイント、業況が14.3ポイントのプラスとなっている。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合1.2ポイント、売上が15.5ポイントのプラス、仕入単価が4.9ポイント、採算が18.2ポイントのマイナス。前期比においては、引合が6.2ポイント、売上が15.6ポイントのプラス、仕入単価が11.9ポイント、採算が8.8ポイントのマイナスとなっている。

卸小売業・サービス業については、前年同期比では売上14.2ポイント、客数が20ポイントのプラス、仕入単価が8.6ポイントのマイナス、客単価は変わらずとなっている。前期比については、売上が11.5ポイント、客数が2.9ポイントプラス、仕入単価、客単価は変わらずとなっている。

■今期直面している経営上の問題点（業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は選択された数)

	製造業(56)		建設業(51)		卸小売業(27)		サービス業(55)	
1位	仕入単価の上昇(3)	21.4%	仕入単価の上昇(2)	25.5%	消費者ニーズの変化(3)	25.9%	仕入単価の上昇(1)	25.5%
2位	人件費の増加(4)	14.3%	従業員の確保難(1)	19.6%	需要の停滞(1)	22.2%	需要の停滞(2)	18.2%
3位	設備の老朽化(1)	12.5%	需要の停滞(3)	13.7%	仕入単価の上昇(4)	11.1%	設備の老朽化(3)	12.7%
4位	需要の停滞(5)	10.7%	経費の増加(5)	9.8%	従業員の確保難(5)	11.1%	経費の増加(4)	9.1%
5位	経費の増加(-)	8.9%	設備の老朽化(4)	5.9%	設備の老朽化(-)	7.4%	従業員の確保難(-)	7.3%

今回の調査では前回以上に仕入単価の上昇が全業種上位となっている。調査対象事業所の中にはコロナ等の影響による半導体不足をはじめ、各原材料、部品の納期遅延、原油価格上昇による仕入価格値上等を予測し、在庫確保等を検討されはじめている。

■令和5年10月から導入される「消費税のインボイス制度」について

○インボイス制度を知っていますか？

	製造・建設業		卸小売・サービス業		全体	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率
理解している	11	27.5%	13	38.2%	24	32.4%
言葉だけは知っている	22	55.0%	15	44.1%	37	50.0%
知らない	7	17.5%	6	17.6%	13	17.6%
計	40	100.0%	34	100.0%	74	100.0%

○インボイス制度について関心はありますか？

	製造・建設業		卸小売・サービス業		全体	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率
非常に関心がある	1	3.0%	1	3.0%	2	2.8%
関心がある	23	59.0%	10	26.0%	33	46.5%
知らないが、気になっている	10	26.0%	9	23.0%	19	26.8%
全く関心がない	5	13.0%	12	31.0%	17	23.9%
計	39	100.0%	32	100.0%	71	100.0%

○令和5年にインボイス制度導入以降課税事業者への対応は？

	製造・建設業		卸小売・サービス業		全体	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率
登録する(した)	20	66.7%	11	50.0%	31	59.6%
免税事業者から課税事業者へ予定	3	10.0%	2	9.1%	5	9.6%
免税事業者のまま様子を見る	6	20.0%	5	22.7%	11	21.2%
免税事業者のままでも問題ない	1	3.3%	4	18.2%	5	9.6%
計	30	100.0%	22	100.0%	52	100.0%

○インボイス制度に感じている不安があれば教えてください

	製造・建設業		卸小売・サービス業		全体	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率
制度そのものの詳細が分かりにくい	17	56.7%	13	68.4%	30	61.2%
導入のための準備が大変そう	5	16.7%	2	10.5%	7	14.3%
支払う消費税額が増えそう	4	13.3%	0	0.0%	4	8.2%
会計処理に伴う業務負担が増えそう	4	13.3%	4	21.1%	8	16.3%
計	30	100.0%	19	100.0%	49	100.0%

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和4年1月～3月の状況について、令和4年4月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。